

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成22年8月12日(2010.8.12)

【公開番号】特開2007-186709(P2007-186709A)

【公開日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-028

【出願番号】特願2007-53929(P2007-53929)

【国際特許分類】

C 0 8 F 30/08 (2006.01)

C 0 8 F 290/06 (2006.01)

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

G 0 2 B 1/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 30/08

C 0 8 F 290/06

G 0 2 C 7/04

G 0 2 B 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月24日(2010.6.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

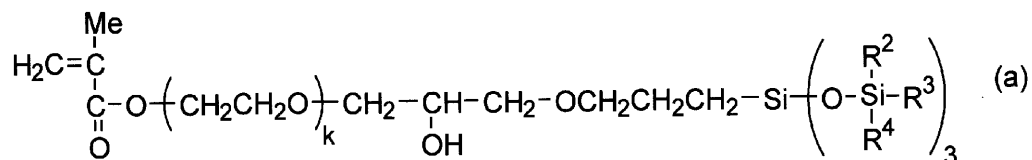
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記一般式(a)で表される眼用レンズ用モノマー、N,Nジメチルアクリルアミドおよび1分子中に2個以上の共重合可能な炭素炭素不飽和結合を有するモノマーを共重合して得られ、該一般式(a)表される眼用レンズ用モノマーの共重合比率が60重量%~95重量%であり、該1分子中に2個以上の共重合可能な炭素炭素不飽和結合を有するモノマーの共重合比率が0.1重量%以上である眼用レンズ用ポリマーを用いてなる眼用レンズ。

【化1】



[ R<sup>2</sup> ~ R<sup>4</sup> はそれぞれ独立にH、置換されていてもよいアルキル基および置換されていてもよいアリアル基から選ばれた置換基を表す。kは0~20の整数を表す。]

【請求項2】

一般式(a)において、R<sup>2</sup> ~ R<sup>4</sup> がそれぞれメチル基を表し、kが0または1を表すことを特徴とする請求項1に記載の眼用レンズ。

【請求項3】

コンタクトレンズであることを特徴とする請求項1または2に記載の眼用レンズ。